

西予市  
地域づくり活動センター  
市民検討委員会  
県外視察研修

# 内容

- ▶ 期日 令和2年2/13(木) ~ 2/14(金)
- ▶ 場所 島根県雲南市  
広島県三次市  
広島県世羅町
- ▶ 参加者 検討委員17名 事務局員4名  
計21名

# 視察先

- ▶ 島根県雲南市
  - ① 入間交流センター
  - ② 波多交流センター
  - ③ 鍋山交流センター
- ▶ 広島県三次市
  - ④ 川西コミュニティセンター
- ▶ 広島県世羅町
  - ⑤ 世羅の宿ひがし

# 視察先の共通点

- ▶ ①公民館から活動センターへ移行した
- ▶ ②管理は市・町からの指定管理（地域運営監理）
- ▶ ③経済活動を行っている



# 【雲南市】 入間交流センター

- ▶ 拠点 旧入間小学校（指定管理）
- ▶ 内容 地域づくり活動の拠点  
宿泊及び食事の提供
- ▶ 職員体制 3名（地域任用職員）  
局長（60代） 地域任用職員（40代主婦）
- ▶ 給与体系 18万円程度
- ▶ 財源 市交付金（主に人件費）  
負担金（各世帯から3,000円を徴収）  
国県補助金、地元負担金  
収益活動（宿泊・レストラン） 課題

# 【雲南市】 入間交流センター

▶ 課題 人材及び担い手不足

▶ 参考

- ①センター化以前から市職員（嘱託職員のみ）の常勤はない。
- ②地域の温度差があり一斉スタートなしていない。
- ③社会教育は市長部局と教育部局が連携して実施。
- ④分離した組織もあり、地域が求める単位の在り方に柔軟に対応。
- ⑤交付金（600～2,000万円）の8割は人件費。

# 【雲南市】 入間交流センター





# 【雲南市】 入間交流センター



# 【雲南市】 波多交流センター

- ▶ 拠点 旧波多小学校（指定管理）
- ▶ 内容
  - ・ 地域づくり活動の拠点
  - ・ 波多マーケット及び無料送迎事業の運営  
（地区内唯一の商店閉店が発端で開店）
  - ・ 放課後児童クラブのような役割  
（宿題をしながら保護者の迎えを待つ）
- ▶ 職員体制 3名（地域任用職員）
- ▶ 財源 市交付金、ふるさと島根定住財団助成金、地区住民からの負担金(出資2千円)、金融機関からの融資。

# 【雲南市】 波多交流センター

## ▶ 参考

- ①パンや加工食品700品目が並び、地元野菜等の出荷も可。
- ②商品入替は、全日食チェーンに加盟することで全日食が実施。
- ③交通弱者対策として、地区内送迎や、無料配達も実施。
- ④当初の寄付が想定上に有り、それを原資に温浴施設も指定管理により運営。

# 【雲南市】 波多交流センター



# 【雲南市】 波多交流センター



# 【雲南市】 波多交流センター



# 【雲南市】 波多交流センター



# 【雲南市】 波多交流センター



# 【雲南市】鍋山交流センター

- ▶ 拠点 旧鍋山公民館（指定管理）
- ▶ 内容 地域づくり活動の拠点  
高齢者福祉事業  
郵券の販売  
施設利用料や備品貸し出し料  
温浴施設も指定管理により運営
- ▶ 職員体制 5名（内1名は大学生・センター長含）  
非常勤も含めると21名 ※全て地域任用職員
- ▶ 財源 市交付金、国県補助金、収益活動
- ▶ 参考

# 【雲南市】鍋山交流センター

## ▶ 参考

- ①秦会長の強烈なリーダーシップ
- ②収益活動も活発に実施され、視察代2,000円/人、水道検診、施設使用料、備品貸出料等、積極的に活動。
- ③女性を中心に地域活動を展開。そうすれば男は必然的に参加する。
- ④生涯学習の必要性は感じておらず、センター推進が生涯学習との認識。
- ⑤鍋山組織が地域の核となっており、困り事は鍋山組織に集まってくる。

# 【雲南市】 鍋山交流センター



# 【雲南市】鍋山交流センター



# 【三次市】 川西コミュニティセンター

- ▶ 拠点 旧川西公民館（指定管理）
- ▶ 内容 地域づくり活動の拠点
  - ・ 高齢者事業（シルバー学級・高齢者男性料理教室等）
  - ・ 農村交流施設「ほしはら山の学校」との連携（GT・定住事業）
  - ・ 川西郷の駅（産直店舗）ファミリーマートと合同店舗
- ▶ 職員体制 4名（センター長1・事務員3）※地域任用職員
- ▶ 財源 市交付金、国県補助金

# 【三次市】 川西コミュニティセンター

## ▶ 参考

- ①原則として出来る時に、出来る事を、出来る人でやる。
- ②自治活動への強制参加を促す事を止め、子育て世代のライフスタイルを尊重する。それにより「地元へ残らない」「田舎へ移住しない」といった流れに繋げない。
- ③光ファイバー整備率が高いことが移住者増に影響。

# 【三次市】 川西コミュニティセンター



# 【三次市】 川西コミュニティセンター



# 【世羅町】 世羅の宿ひがし

- ▶ 拠点 旧東小学校（指定管理）  
（センターとせらの宿は別で指定管理）
- ▶ 内容 地域づくり活動の拠点  
宿泊施設の運営  
宿泊の提供(年間利用者数 806人)H30年度  
食事の提供(年間利用者数5,573人)
- ▶ 職員体制 自治センター 2名（センター長1名 非常勤1名）  
せらの宿 13名（施設長1名 宿直5名 調理人7名）  
※地域任用職員
- ▶ 財源 町交付金、事業収益

# 【世羅町】 世羅の宿ひがし

## ▶ 参考

- ①平成20年度からセンター化へ着手。
- ②第1段(H20)で公民館を市長部局へ移管し、市職員を引上げ。第2段(H22)で指定管理者制度を導入。
- ③公民館の頃から窓口業務は無し。
- ④センター化により使用しなくなった公民館は競売にかけたものも有り。
- ⑤利益追求×地域活性化が重要。
- ⑥センター移行当初は市職員と業務を共にしたが、居ない方がやりやすい。

# 【世羅町】 世羅の宿ひがし



# 【世羅町】 世羅の宿ひがし



# 【世羅町】 世羅の宿ひがし



# 【世羅町】 世羅の宿ひがし



# 【世羅町】 世羅の宿ひがし



# まとめ

- ▶ 当市の目指す地域づくり活動センターは、職員配置を計画しており、今回の視察先とは相違がありました。
- ▶ しかし、「自分たちの地域は自分たちの手で」という同様の基本理念はどの地域も変わらないと感じる事ができました。
- ▶ 人口減少により、地域の活力が低下し、行政の体力が低下した今、お互いが協働し、時にはぶつかり合いながら進んでいくことが地域の未来を創る近道だと感じました。
- ▶ 今後、先進地の取り組みを取り入れながら、西予市モデルを完成させる為に、検討会でご意見をいただければと考えております。